

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	育児支援ヘルパー派遣事業	シート番号	014-021
担当部署名	子ども青少年 局 子ども青少年育成 部 子ども育成 課	評価責任者(課長名)	橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	有
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	児童福祉法第6条の3第5項			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	核家族化や地域の相互扶助機能が低下し、人間関係が希薄化する中、精神的にも肉体的にも過重な負担がかかりやすい産褥期の子育て支援として、平成18年10月から事業を開始した。平成22年8月、虐待の未然防止施策として、利用要件や回数を拡充。平成27年4月から、利用始期を産前2か月から妊娠届出以降に拡充。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	・妊娠届出日から出産予定日までの妊婦のうち、体調不良等により家事又は育児を行うことが困難な者 ・満1歳までの乳幼児を養育する者のうち、体調不良や育児に対する不安感等により家事又は育児を行うことが困難な者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	訪問による育児・家事支援を実施し、出産や育児に対する不安や負担を軽減することにより、当該家庭における児童の養育の安定を図り、安心して生み育てられる環境を整備する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	支援を必要としている家庭からの申請に基づき派遣決定を行い、市と委託契約している事業者から1回2時間、50回(多胎の場合は80回)を限度にヘルパーを派遣する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 市内の訪問介護事業所等					

Ⅲ. 投入量

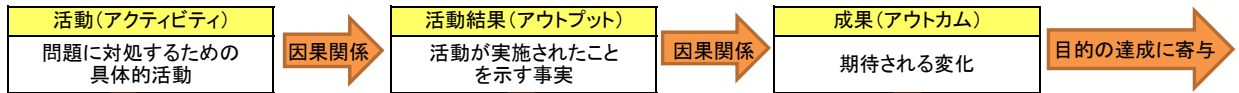
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	4,970	6,770	5,387	6,393	6,885	5,670	6,615
	主な事業費内訳								
	委託料	千円	4,940	6,770	5,357	6,344	6,770	5,610	6,500
	通信運搬費	千円	30	0	30	27	104	60	104
	謝礼金	千円				22	11	0	11
	国・府支出金	千円	4,129	4,052	4,228	4,560	4,400	2,300	3,576
	財源内訳								
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
市債	千円								
その他( )	千円								
一般財源	千円	841	2,718	1,159	1,833	2,485	3,370	3,039	
12	人件費 (b)	千円	15,000	12,275	12,260	11,905	11,400	11,765	12,105
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	19,970	19,045	17,647	18,298	18,285	17,435	18,720

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	育児支援ヘルパー派遣事業	シート番号	014-021
-------	--------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



<p>[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載</p> <p>[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載</p>	<p>【達成率に基づいた評価基準】</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </tbody> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価	達成率												
大変良い	120%以上												
良い	100%以上120%未満												
普通	80%以上100%未満												
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>年2回の新規事業者募集の際に、事業者へ積極的に本事業の説明を行い、新規事業者の獲得につなげた。これにより、支援体制が強化され、利用者の増加につながった。</p>						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	延べ派遣回数	回	目標値	2,500	2,500	2,700	2,900
				実績値	2,979	3,111	2,789	
				達成率	119%	124%	103%	
				評価	良い	大変良い	良い	
		算出方法・設定根拠など		過去の実績等を勘案して設定				
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	実利用者数	人	目標値	130	130	130	200
				実績値	153	163	189	
達成率				118%	125%	145%		
評価				良い	大変良い	大変良い		
	算出方法・設定根拠など		過去の実績等を勘案して設定					

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	延べ派遣回数	回	2,979	3,111	2,789
	②	上記①にかかる年間経費	千円	19,045	18,298	17,435
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	6,393	5,882	6,251
	備考(算出についての説明等)					
18	①	実利用者数	人	153	163	189
	②	上記①にかかる年間経費	千円	19,045	18,298	17,435
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	124,477	112,258	92,249
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	<p>子育て家庭への訪問や子育て関連イベント等での周知により、昨年度に比べ実利用人数が増加した。また、新規事業者の獲得により支援体制を強化することで、延べ派遣回数も増加傾向にあったが、2月以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で派遣依頼数が減少した。</p>	

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

## 令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	育児支援ヘルパー派遣事業	シート番号	014-021
-------	--------------	-------	---------

### ≪ V. 点検 ≫

#### ＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 本事業は、公的サービスとして、比較的安価に利用できるが、廃止後も同種のサービスを利用したい場合は、民間ヘルパーと直接契約することになる。民間ヘルパーは、本事業より利用料金が高く、子育て家庭の経済的負担が増大することから、民間ヘルパーの利用を控えざるを得ず、より一層育児に対する不安、負担が増す可能性がある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> <b>休止の場合の再開時期</b> 断続的にヘルパー派遣をしている中、休止してしまふと、利用者の育児に対する負担が増加する事が予想される。 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 本事業は、子育て家庭の育児に対する不安、負担を軽減するために実施している。現在、各区、各時間帯、各曜日等で一定の需要があり、曜日等での縮減をした場合、利用者のニーズに対応できず、見守りが必要な家庭の発見の遅れにつながる。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 訪問時の対応方法等の作成・周知を既に実施している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 (                      )	<b>理由・説明</b> ・堺市内に活動拠点となる事業所がある指定居宅サービス事業者等に委託し、事業を実施。 ・半数以上の政令指定都市で国の養育支援訪問事業として実施。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 効果的・効率的に事業を実施できるよう関係機関と連携するとともに、乳児家庭全戸訪問事業や子育てアドバイザー事業など他事業とも連携を図りながら事業を進めていく必要がある。また、次年度においても引き続き、派遣に係る関係機関との連携を強化し、取り組んでいく。また、利用希望者が確実に利用できるよう、あらゆる媒体を活用し、事業周知を行うとともに、新たな事業者の確保に努めていく。		